

施設整備事業の事後評価結果 (平成 24 年度事後評価分)

1 評価対象事業

- (1) 機構の施設整備事業（いわゆるハード事業）については、施設整備の完了後 3 年又は 5 年を経過した年の翌年度に、費用対効果分析の結果をもって事後評価することとしている。
- (2) 平成 24 年度については、平成 20 年度に実施した 2 事業（14 件）及び平成 18 年度に実施した 2 事業（47 件）の計 4 事業（61 件）が、費用対効果分析による事後評価の対象となった。

このうち、平成 18 年度に実施した 1 事業（1 件）については、口蹄疫の影響により事業の対象として導入した家畜を殺処分し、事後評価を実施することが困難となったため評価の対象から除き、4 事業（60 件）について事後評価を実施した。

【具体的事業の内訳】

事業名	施設数(件)
食肉流通合理化総合対策事業	13
乳業再編整備等対策事業	1
地域肉用牛振興対策事業	40
低コスト肉用牛生産特別対策事業	6
計	60

2 評価結果

- (1) 施設整備の完了後 3 年後に事後評価の対象となった 2 事業（14 件）については、全て投資効果が「1」を上回った。
- (2) 施設整備の完了後 5 年目に事後評価の対象となった 2 事業（46 件）については、計画時に比べて配合飼料価格の上昇や子牛価格の低迷が著しいことから、その影響を補正した上で投資効率を算定した。その結果、投資効果が「1」以下となったものは 19 件であった。
- 理由は、経営収支の悪化や農家の生産技術不足から繁殖雌牛の増頭が進まなかったことなどである。
- (3) 投資効果が「1」以下となったものについては、関係者の連携及び利用率の改善のため現地指導もしくは文書による指導を行った。また、地域肉用牛振興対策事業（現名称 肉用牛経営安定対策補完事業）については、ヒアリングを早期に行い、十分な事業実施期間を確保することとした。

【事後評価結果一覧】

事業名	件数 (施設数)	投資効率が1以下と なった施設の割合	計画時の投資効率に 比べ、実績値による投 資効率が▲20%以上 乖離している施設
平成20年度事業(3年目に事後評価を実施)			
食肉流通合理化総合対策事業	13	0% (0/13件)	38% (5/13件)
乳業再編整備等対策事業	1	0% (0/1件)	0% (0/1件)
計14			
平成18年度事業(5年目に事後評価を実施)			
地域肉用牛振興対策事業(補正 後)	40	45% (18/40件)	53% (21/40件)
低コスト肉用牛生産特別対策事 業(補正後)	6	17% (1/6件)	33% (2/6件)
計46			
合計(補正後)	60	32% (19/60件)	

注1：投資効率は、 $\{(\text{年総効果額} \div \text{還元率}) - \text{廃用損失額}\} \div \text{総事業費}$

注2：補助事業第三者委員会での議論を踏まえ、地域肉用牛振興対策事業及び低コスト肉用牛生産特別対策事業については、配合飼料価格の高騰及び子牛価格の低迷の影響を考慮して補正。

事後評価の実施状況

(単位:千円)

事業名	平成20年度食肉等流通合理化総合対策事業						畜産振興部			乖離の要因				
	事業実施主体	整備内容	事業計画時			実績値			20%以上の乖離					
			総事業費	年総効果額	廃用損失額	還元率	投資効率	総事業費			年総効果額	廃用損失額	還元率	投資効率
1	相室地方畜産商業協同組合(根室集地家畜市場)	セリシステム	10,966	5,360	0	0.2360	2.07	10,710	2,641	0	0.2360	1.04	-49.5%	猛暑による搾乳牛の淘汰や乳量の低下など酪農の環境が悪化し、酪農離脱農家が増加したことにより、取引頭数が減少したため。
2	社団法人福島県畜産振興協会(福島県家畜市場)	輸送施設(プラットフォーム)	5,800	723	0	0.0900	1.39	5,780	1,557	0	0.0900	2.99	116.1%	県内の家畜市場の閉鎖に伴い、取引頭数が増加したため。
3	株式会社福島県食肉流通センター	カット設備等	39,593	6,931	0	0.1264	1.38	36,845	12,505	0	0.1275	2.66	92.2%	地場販売や新規取引先拡大などにより豚の処理頭数、部分肉加工数が増加したため。
4	但馬養鶏農業協同組合	カット設備等	64,365	37,627	0	0.1345	4.35	64,365	180,567	0	0.1345	20.86	379.9%	近隣の食鳥処理場から受託処理を開始したことにより、処理羽数が増加したため。
5	社団法人佐賀県畜産公社	真空包装機 自動梱包機	80,121	27,829	0	0.1223	2.84	74,200	17,021	0	0.1223	1.88	-34.0%	農家の廃業や県外食肉センターへの出荷増加により、加工数量が減少したため。
6	天草農業協同組合(天草家畜市場)	セリシステム	35,332	10,755	0	0.2250	1.35	35,332	10,208	0	0.2250	1.28	-5.1%	
7	全農大分県本部(豊後豊肥家畜市場)	けい養施設 自動誘導レーン	40,562	6,357	0	0.0690	2.27	31,395	4,246	0	0.0690	1.96	-13.7%	
8	全農大分県本部(豊後玖珠家畜市場)	けい養施設 自動誘導レーン	60,197	6,141	0	0.0640	1.59	53,340	4,636	0	0.0640	1.36	-14.8%	
9	宮崎県畜産商業協同組合(都城一般家畜市場)	セリシステム 秤量施設	24,780	6,916	0	0.2045	1.36	24,465	5,356	0	0.2045	1.07	-21.6%	口蹄疫及び高齢化による離農の進行により取引頭数が減少したため。
10	あいら農業協同組合(始良中央家畜市場)	けい養施設(回転棚)	2,574	701	0	0.1485	1.83	2,400	2,453	0	0.1485	6.88	275.3%	当初計画より人件費が大きく圧縮できたため。
11	あまみ農業協同組合(与論家畜市場)	セリシステム	15,267	3,554	0	0.1908	1.22	13,755	2,703	0	0.1908	1.03	-15.6%	
12	鹿児島県経済農業協同組合連合会(指宿中央家畜市場)	自動誘導レーン	7,159	1,956	0	0.0899	3.04	6,500	609	0	0.0899	1.04	-65.7%	子牛価格の低迷により、高齢化・婦女子化している農家の生産意欲減退を招き、子牛生産頭数が減少したことにより、取引頭数が減少したため。
13	沖縄県農業協同組合(多良間家畜市場)	自動誘導レーン	12,100	1,891	0	0.0900	1.74	12,100	1,099	0	0.0900	1.01	-41.9%	飼料価格高騰や口蹄疫の影響による経営規模の縮小等により当初計画していた頭数までは達しなかったため。

改善事項	改善点の具体的な内容
事業内容	—
運用方法	—
審査方法・基準	—
費用対効果分析手法	—
指導方法等	—

(千円)

事後評価の実施状況

事業名	乳業再編整備等対策事業(大型貯乳施設整備事業)				畜産需給部				乖離の要因		
	整備内容	事業計画時		実績値		実績値		乖離状況			
事業実施主体	総事業費	年総効果額	廃用損失額	還元率	投資効率	総事業費	年総効果額	廃用損失額	還元率	投資効率	20%以上の乖離の有無
関東生乳販売農業協同組合連合会	811,624	97,707	56,673	0.1010	1.12	701,489	100,346	56,673	0.1014	1.33	18.8%

改善事項	改善点の具体的な内容
事業内容	平成22年度をもって当該事業は終了
運用方法	—
審査方法・基準	—
費用対効果分析手法	—
指導方法等	—

事後評価の実施状況

(千円)

事業名 事業実施主体	地域肉用牛振興対策事業(新規参入円滑化対策事業)				担当部 畜産経営対策部				補正後1.0以下の要因					
	事業計画時(18年度)		実績値(23年度 注※)		事業計画時(18年度)		実績値(23年度 注※)							
	導入頭数	導入内容	導入頭数	導入内容	導入頭数	導入内容	導入頭数	導入内容						
1 なががま農協	15	畜舎等	13,018	2,181	0	0.1142	1.47	14,061	1,985	0	0.1394	1.01	-30.9%	-
	40	畜舎等	25,966	6,298	0	0.1729	1.40	27,258	4,758	0	0.1754	1.00 (2.35)	-29.1% 67.5%	
	36	畜舎等	20,528	6,362	0	0.2042	1.52	23,476	1,329	0	0.2065	0.27 (1.29)	-81.9% -14.9%	
	38	畜舎等	23,231	6,240	0	0.2019	1.33	24,588	1,776	0	0.2029	0.36 (1.04)	-73.2% -21.5%	
5	30	畜舎等	19,142	5,589	0	0.1672	1.75	20,132	955	0	0.1700	0.28 (0.85)	-84.0% -51.2%	・収益性低下による繁殖雌牛の導入未達や技術力不足等による子牛生産率の低下の結果、子牛販売頭数が減少
	30	畜舎等	20,297	4,058	0	0.1720	1.16	16,428	465	0	0.1595	0.18 (2.14)	-84.7% 84.2%	
7 才口ン農協	115	畜舎、堆肥 舎等	84,893	15,868	0	0.1158	1.61	84,431	10,612	0	0.1300	0.97 (1.98)	-40.1% 22.8%	-
	17	畜舎等	10,193	4,387	0	0.1957	2.20	9,990	91	0	0.1966	0.05 (0.43)	-97.9% -80.5%	
8 (社)岩手県農業公社	41	畜舎、堆肥 舎等	39,203	12,118	0	0.1894	1.60	38,920	391	0	0.1891	0.05 (0.44)	-96.7% -72.7%	・収益性低下による繁殖雌牛の導入未達や技術力不足等による子牛生産率の低下の結果、子牛販売頭数が減少
	100	畜舎、堆肥 舎等	91,759	16,820	0	0.1518	1.21	93,432	7,242	0	0.1552	0.50 (1.70)	-58.6% 40.8%	
11 (社)秋田県農業公社	100	畜舎、堆肥 舎等	98,241	15,440	0	0.1264	1.24	107,344	870	0	0.1253	0.06 (1.41)	-94.8% 13.5%	-
	35	畜舎等	34,316	7,458	0	0.1425	1.53	31,737	2,983	0	0.1397	0.67 (1.53)	-55.9% 0.4%	
13 北群茨川農協	35	畜舎等	30,534	8,038	0	0.1535	1.72	28,974	5,168	0	0.1501	1.19	-30.7%	-
	16	畜舎等	12,103	2,784	0	0.1425	1.61	11,673	327	0	0.1400	0.20 (0.20)	-87.7% -87.6%	
15 全農兵庫県本部	200	畜舎等	173,583	34,493	0	0.1612	1.23	190,382	34,434	0	0.1591	1.14	-7.8%	-

事業実施主体	整備内容		事業計画時(18年度)				実績値(23年度 注※)				乖離状況	補正後1.0以下の要因		
	施設等	導入頭数	総事業費	年総効果額	費用損失額	還元率	投資効率	総事業費	年総効果額	費用損失額			還元率	投資効率
16 いわみ中央農協	畜舎等	36	21,816	4,242	0	0.1503	1.29	21,698	171	0	0.1502	0.05 (0.92)	-25.6%	-
17	畜舎等	26	13,678	3,329	0	0.1332	1.83	13,895	3,853	0	0.1366	2.03	11.1%	-
18 東宇和農協	畜舎等	68	44,904	7,636	0	0.1369	1.24	45,748	867	0	0.1390	0.14 (0.75)	-89.0%	・技術力不足等による子牛生産率の低下の結果、肥育牛販売頭数が減少 (※繁殖・肥育一貫経営)
19	畜舎等	60	70,434	10,532	0	0.1324	1.13	72,345	2,764	0	0.1420	0.27 (0.82)	-29.0%	・技術力不足等による子牛生産率の低下の結果、肥育牛販売頭数が減少 (※繁殖・肥育一貫経営)
20 佐賀みどり農協	畜舎、堆肥 舎等	130	123,848	19,458	0	0.1315	1.19	114,802	3,387	0	0.1500	0.20 (0.58)	-76.2%	・技術力不足等による子牛生産率の低下や子牛の事故発生の結果、子牛販売頭数が減少 ・子牛のきめ細やかな飼養管理(特に哺育技術)を行うための雇用労費の発生
21 唐津農協	畜舎、堆肥 舎等	30	23,692	4,275	0	0.1100	1.64	23,611	565	0	0.1105	0.22 (0.60)	-83.5%	・技術力不足等による子牛生産率の低下の結果、子牛販売頭数が減少 ・当初計画していた自給飼料畑を確保出来なかったことによる購入飼料費の増加
22	畜舎、堆肥 舎等	30	21,757	4,046	0	0.1130	1.64	22,062	2,430	0	0.1153	0.96 (2.11)	-51.7%	・技術力不足等による子牛生産率の低下の結果、子牛販売頭数が減少 ・当初計画していた自給飼料畑を確保出来なかったことによる購入飼料費の増加
23	畜舎、堆肥 舎等	20	17,722	2,822	0	0.1186	1.34	17,097	1,625	0	0.1196	0.79 (1.86)	-86.8%	・技術力不足等による子牛生産率の低下の結果、子牛販売頭数が減少 ・当初計画していた自給飼料畑を確保出来なかったことによる購入飼料費の増加
24 ごとう農協	畜舎、堆肥 舎等	20	16,273	2,587	0	0.1224	1.30	15,850	2,532	0	0.1198	1.33	-41.0%	-
25	畜舎、堆肥 舎等	20	16,273	3,376	0	0.1224	1.69	15,643	494	0	0.1190	0.27 (0.51)	28.2%	-
26	畜舎、堆肥 舎等	20	11,335	1,966	0	0.1119	1.55	12,368	573	0	0.1139	0.41 (0.41)	-84.3%	・技術力不足等による繁殖雌牛の事故・費用頭数が増加した結果、子牛販売頭数が減少 ・技術力不足等による子牛生産率の低下や子牛の事故発生の結果、子牛販売頭数が減少 ・天候不良に伴い自給飼料を確保出来なかったことによる購入飼料費の増加
27 対馬農協	畜舎、堆肥 舎等	100	100,590	17,694	0	0.1542	1.14	105,159	1,349	0	0.1613	0.08 (0.45)	-73.7%	・技術力不足等による子牛生産率の低下や子牛の事故発生の結果、子牛販売頭数が減少 ・技術力不足等による子牛生産率の低下の結果、子牛販売頭数が減少
28 山香町農協	畜舎等	25	26,640	4,312	0	0.1189	1.36	27,152	5,237	0	0.1215	1.59	-93.0%	-
29 阿蘇農協	畜舎等	20	12,600	2,512	0	0.1697	1.18	12,562	334	0	0.1697	0.16 (0.83)	-60.8%	・技術力不足等による子牛生産率の低下の結果、子牛販売頭数が減少
30 熊本県畜産農協	畜舎、堆肥 舎等	50	44,654	5,811	0	0.1140	1.14	37,059	1,158	0	0.1045	0.30 (0.42)	-86.7%	・技術力不足等による子牛生産率の低下の結果、子牛販売頭数が減少
31 宮崎中央農協	畜舎、堆肥 舎等	30	31,394	4,442	0	0.1059	1.34	25,864	3,474	0	0.1229	1.09	-29.3%	・口蹄疫発生に伴う人工授精の自粛による子牛生産率の低下や収益性低下による繁殖雌牛の導入未達の結果、子牛販売頭数が減少
32	畜舎、堆肥 舎等												-73.8%	-

事業実施主体	整備内容	事業計画時(18年度)			実績値(23年度 注※)			乖離状況	補正後1.0以下の要因					
		導入頭数	総事業費	年総効果額/費用損失額	投資効率	導入頭数	総事業費			年総効果額/費用損失額	投資効率			
33 都城農協	施設等 畜舎、堆肥 舎等	43	31,444	4,423	0	0.1137	1.24	23,013	431	0	0.1006	0.19 (0.88)	-85.0% -28.7%	・口蹄疫発生に伴う人工授精の自粛による子牛生産率の低下や収益性低下による繁殖 雌牛の導入未達の結果、子牛販売頭数が減少
34	畜舎、堆肥 舎等	50	51,002	8,873	0	0.1391	1.25	54,145	1,136	0	0.1519	0.14 (0.91)	-89.0% -27.3%	・自給飼料の生産が計画通り進まなかったことによる購入飼料費の増加 ・技術力不足等による子牛生産率の低下や子牛の事故発生の結果、子牛販売頭数が減 少 ・繁殖雌牛導入価格の上昇によるリース料(家畜)の増加
35 鹿兒島きもつき農協	畜舎等	50	46,652	10,306	0	0.1363	1.62	52,826	2,017	0	0.1549	0.25 (1.02)	-84.8% -37.0%	—
36	畜舎等	50	52,681	10,588	0	0.1404	1.43	58,534	560	0	0.1487	0.06 (0.35)	-95.5% -75.2%	・自給飼料の生産が計画通り進まなかったことによる購入飼料費の増加 ・技術力不足等による子牛生産率の低下や子牛の事故発生の結果、子牛販売頭数が減 少 ・繁殖雌牛導入価格の上昇によるリース料(家畜)の増加
37 いぶすき農協	畜舎、堆肥 舎等	50	55,544	8,179	0	0.1363	1.08	59,758	1,816	0	0.1395	0.22 (1.01)	-79.8% -6.3%	—
38 そお鹿兒島農協	畜舎、堆肥 舎等	50	53,347	9,481	0	0.1440	1.23	54,343	495	0	0.1480	0.06 (0.90)	-95.0% -26.9%	・当初計画していた自給飼料畑を確保出来なかったことによる購入飼料費の増加 ・繁殖雌牛導入価格の上昇によるリース料(家畜)の増加
39 あおぞら農協	畜舎、堆肥 舎等	50	54,199	9,355	0	0.1427	1.21	53,842	3,753	0	0.1585	0.44 (1.18)	-63.6% -2.1%	—
40 肝付吾平町農協	畜舎、堆肥 舎等	60	64,262	11,823	0	0.1286	1.43	68,426	4,187	0	0.1434	0.43 (1.08)	-70.2% -24.2%	—

注1 投資効率が1.0を下回ったものについては、補正を行い下段に()とした。
注2 補正値については、肉牛価格等の数値に係る18年度から23年度への変動率を農林水産省等の統計を参考に算出し、23年度の
数値に乗ずることにより、算出した。
注3 地域肉用牛振興対策事業(新規参入円滑化対策事業)については、新規参入者の促進を図るため、牛舎等の施設整備及び繁
殖雌牛を導入する事業内容であり、5年間に実施期間とし、5年後に投資効率が1.0を上回る計画となっている。

改善事項	改善点の具体的な内容
事業内容	—
運用方法	ヒアリングの早期化による十分な事業実施期間の確保
審査方法・基準	—
費用対効果分析手法	—
指導方法等	・事後評価の結果、投資効率が1以下の場合に提出する改善策につ いて、年度別に記入する等より具体的なものに改善 ・関係者間の連携及び生産者への計画的指導の実施について、現地 調査及び文書により指導 ・新規参入者に共通する課題と改善のためのアドバイザー事例 集を作成・配布

事後評価の実施状況

(千円)

事業名	低コスト肉用牛生産特別対策事業(低コスト肉用牛生産実証展示事業)				畜産経営対策部				補正後1.0以下の要因
	事業内容	事業計画時(18年度)		実績値(23年度 注※)		乖離状況	投資効率	還元率	
		総事業費	年総効果額	総事業費	年総効果額				
1 宮城県農業公社	牛舎、堆肥舎、機械等	29,616	6,455	29,535	113	-98.2%	0.03	0.1237	-
						-23.2%	(1.29)		
2 たじま農協	牛舎等	20,580	4,174	24,654	19,440	298.1%	6.81	0.1158	-
3 真庭農協	牛舎、堆肥舎、機械等	47,945	9,624	39,478	141	-98.3%	0.03	0.1367	-
						332.2%	(6.68)		
4 佐賀県農協	牛舎、堆肥舎、機械等	241,431	26,573	190,366	7,984	-62.0%	0.43	0.0980	-長期不妊胎牛の養生や分娩事故の増加による子牛販売頭数の減少 -畜舎工事遅延により補助率が低下した結果、自己負担額が増加
						-48.0%	(0.59)		
5 香崎市農協	牛舎、堆肥舎、機械等	50,551	7,447	44,877	0	-100.0%	0.00	0.0972	-
						94.7%	(2.89)		
6 日向農協	牛舎、堆肥舎等	19,693	2,717	18,721	81	-96.9%	0.05	0.0804	-
						45.2%	(2.49)		

注1 投資効率が1.0を下回ったものについては、補正を行い下段に()とした。

注2 補正値については、肉牛価格等の数値に係る18年度から23年度への変動率を農林水産省等の統計を参考に算出し、23年度の数値に乗ずることにより、算出した。

注3 低コスト肉用牛生産特別対策事業(低コスト肉用牛生産実証展示事業)については、低コスト肉用牛生産の推進を図るため、家畜飼養管理用等の施設整備及び牧草地の整備等を実施する事業内容であり、5年間の実施期間とし、5年後に投資効率が1.0を上回る計画となっている。

改善事項	改善点の具体的な内容
事業内容	平成18年度をもって当該事業は終了
運用方法	-
審査方法・基準	-
費用対効果分析手法	-
指導方法等	・関係者間の連携及び生産者への計画的指導の実施について、文書により指導

(参考)

新規参入円滑化等対策事業における採択時の審査及び採択後のフォローアップについて

時期	内容	24年度の実施状況	備考
採択時	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリングで次の項目を確認（都道府県、農協等） →事業の内容（施設の整備、繁殖雌牛の導入） →新規参入者の要件（技術水準、研修内容） →費用対効果分析（5年後の経営収支計画額を基に算定） →農協等による指導・支援体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県ほか4県（6新規参入者）についてヒアリングを実施し、内容を精査した上で、事業を採択 	<ul style="list-style-type: none"> ・22年度から農協等による指導・支援体制を運営状況報告の確認項目に追加
1年後	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用状況等の報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・22年度採択分の利用状況等を確認 	
2年後	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用状況等の報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・21年度採択分の利用状況等を確認 	
3年後	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用状況等の報告 ・利用状況等が計画を下回るものについて現地調査・指導を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・20年度採択分の利用状況等を確認 ・9件の現地調査・指導を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・20年度から22年度まで補助事業として、23年度から機構が直接実施
4年後	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用状況等の報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・19年度採択分の利用状況等を確認 ・1件の現地調査を実施 	
5年後	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用状況等の報告 ・事後評価の実施 →効用が費用を下回った場合は改善策の提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・18年度分の利用状況等を確認及び事後評価の実施 ・3件の現地調査・指導を実施及びその他については文書により指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・投資効率が1.0以下：18件 ・事業参加者のための事例集を作成

※新規参入円滑化等対策事業は、18年度までは地域肉用牛振興対策事業として実施。なお、19年度から21年度までは肉用牛繁殖基盤強化総合対策事業、22年度は多様な肉用牛経営実現支援事業、23年度以降は肉用牛経営安定対策補完事業として実施されている。